

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

神奈川中央交通株式会社（証券コード:9081）

【据置】

| | |
|---------|------|
| 長期発行体格付 | BBB+ |
| 格付の見通し | 安定的 |
| 債券格付 | BBB+ |

■格付事由

- 神奈川県中部を主たる事業エリアとするバス会社大手であり、小田急電鉄の持分法適用関連会社。路線バスを中心とする一般旅客自動車運送事業、不動産事業、商用車および輸入車の販売を行う自動車販売事業などを展開する。
- 主力の一般旅客自動車運送事業では依然としてコロナ禍の影響を受けているが、足元において需要は底を打っている上、コスト削減も進めている。また小口分散が効いた不動産賃貸事業の業績は引き続き堅調であり、今後も社有地の有効活用に伴う新規賃貸施設の収入上乘せが期待できる。事業環境は不透明であるものの、現時点において業績は21/3期をボトムに改善すると考えられる。収益力の低下などによって、21/3期末の財務構成は悪化した。しかしキャッシュフローの見通しや投資計画などから見れば、中期的に財務内容は緩やかに改善すると想定される。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 22/3期第1四半期営業利益は1億円（前年同期は35億円の営業損失）となった。一般旅客自動車運送事業などにおいてコロナ禍による影響を受けているものの、同影響をより大きく受けた前年同期比較では回復が見られる。22/3期営業利益は32億円（前期は59億円の営業損失）の計画である。事業環境は不透明であり引き続き需要動向を注視する必要はあるが、需要に応じたダイヤ改正や業務効率化などの取り組みの進捗や成果が見込まれる。
- 21/3期末自己資本比率は31.9%（前期末35.8%）、ネットDERは1.3倍（同1.1倍）と最終損失の計上に伴う自己資本の減少や有利子負債の増加などにより悪化した。ただ業績の見通しなどから見れば今後の大規模な減損損失計上リスクは小さく、更に自己資本が毀損する可能性は低いと考えられる。引き続き社有地の有効活用に伴う賃貸施設の新設などの設備投資が計画されているものの、キャッシュフローの見通しなどから見れば、有利子負債は減少に転じると見られる。これらを考慮すれば、足元で悪化した財務構成は今後改善に向かう見込みである。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

■格付対象

発行体：神奈川中央交通株式会社

【据置】

| 対象 | 格付 | 見通し |
|---------|------|-----|
| 長期発行体格付 | BBB+ | 安定的 |

| 対象 | 発行額 | 発行日 | 償還期日 | 利率 | 格付 |
|-----------------------|-------|------------|------------|-------|------|
| 第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付） | 50億円 | 2016年12月7日 | 2026年12月7日 | 0.48% | BBB+ |
| 第4回無担保社債（社債間限定同順位特約付） | 50億円 | 2019年12月2日 | 2024年12月2日 | 0.25% | BBB+ |
| 第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付） | 100億円 | 2020年12月8日 | 2025年12月8日 | 0.45% | BBB+ |

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年9月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 神奈川中央交通株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル